

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第156回 『感覚過敏に気づいて！』

みえ発達障がい支援システムアドバイザー 竹村 マミ

自閉症傾向のお子さんの中には、聴覚、触覚、味覚、嗅覚、視覚による感じ方が異なり、過敏過ぎたり鈍感過ぎたりすることがあります。例えば、ピアノの音に耳をふさぐ子、アイスクリームが食べられない子、中にはシャワーの水が痛く感じる子もいると聞きます。そうかと思えば黒板をひっかく音が平気だったりする場合があります。

一般的には我慢できると思えることも耐えられないことがあり、それは、その時の気候の変動や体の調子によっても異なります。

また、それまで聞いたことがなかった施設内でのチャイムに驚き、次からその施設に入れなくなるお子さんがいました。暫くは、戸外で鳴る前に心の準備として、「もうすぐ音が鳴るよ」と予告しておき、耳をふさいで音を聞くようにしました。その次は、音源を探して「ここから鳴るんだよ」と見せて、何時に鳴るのかを知らせました。そうすることで、徐々に施設内に入ることができるようになり、鳴る直前に戸外に出るようにしました。そこからは、「もう直ぐ鳴るよ」と合図しておくことで、施設にいても平気で音が聞けるようになりました。

過敏な事やそうなった場合、生活に支障のない範囲で、できる限り不快となる刺激を取り除いてあげてください。そして、事前に「今から〇〇するよ」と伝えて心の準備ができるようにしておき、少しずつ不快な刺激にも我慢できたことを褒めるようにしていくと、過敏さが軽減されていきます。

11月は虐待防止月間です。

保健福祉センター保健室前に、

今年も虐待防止のメッセージを

掲げたツリーを展示しました。

皆様、暖かいメッセージを

ありがとうございました。

